

これからの下水道事業

1. 将来像

新下水道ビジョン基本理念 未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道

加古川市の下水道事業は、昭和 38 年に認可を受け事業に着手し、昭和 42 年から汚水処理を開始して以降、整備区域を拡大しながら公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全及び浸水被害の軽減など、様々な役割を果たしてきました。

平成 37 年度を目標に汚水処理の未整備区域の早期解消に取り組む一方、大規模地震や多発する集中豪雨など自然災害に対する備えや耐用年数を経過した管渠・設備の更新も重要な課題です。

今後、人口減少という経験したことのない経営環境の変化を乗り越え、安心で快適な暮らしを市民の皆さまに世代を越えて提供し続けるため、

『未来へつなぐ 安心で快適な暮らしを支える下水道』

を基本理念として掲げ、下水道事業の運営を行っていきます。

2. 目標と基本施策

国土交通省が策定した新下水道ビジョン（平成 26 年 7 月策定）では、下水道が果たすべき使命を、「持続的発展が可能な社会の構築に貢献」とし、「循環のみち下水道の持続と進化」を二本柱に位置付けています。更に平成 29 年 8 月には「新下水道ビジョン」の実現をさらに加速すべく「新下水道ビジョン加速戦略」を策定し、加速すべき重点項目を 8 項目提示しています。

加古川市の下水道ビジョンにおいても、国の施策に沿って、それぞれの方針を掲げ、事業の運営を行っていきます。

キーワード	方針
快適	快適な生活環境の創出
安心	危機に強い安全・安心な下水道の実現
持続	信頼される健全な経営

(1) 快適な生活環境の創出・・・『快適』

下水道の役割の一つに、家庭や事業活動により排出される汚水を速やかに排除・処理することがあります。特に便所の水洗化は居住空間を便利で快適なものすることから、下水道は生活環境の改善に貢献します。

市内には、未だ下水道が整備されていない地域が残されており、市民の皆様が一様に快適な生活ができるよう、早期の下水道整備が求められています。

このように、下水道を整備し、水洗化を促進することにより、お客さまの満足度を高めいくため、「[快適な生活環境の創出](#)」を『快適』に関する方針として掲げます。

(2) 危機に強い安全・安心な下水道の実現・・・『安心』

下水道のもう一つの役割には浸水被害を防ぐことがあります。お客さまの生命と財産を守ると同時に、交通などの都市機能を確保する上でも浸水対策は下水道の重要な使命です。

また、近年、局地的集中豪雨や大規模地震による災害など自然災害が度重なり発生しています。老朽化した管渠・施設を適宜更新し、耐震性を向上させる必要があります。

災害時に市民生活への影響を最小限に抑えるため、「[危機に強い安全・安心な下水道の実現](#)」を『安心』に関する方針として掲げます。

(3) 信頼される健全な経営・・・『持続』

節水機器の普及や人口減少により、水道の水需要が減少することにより、下水道の有収水量も減少が予想されます。一方で、下水道整備の促進、浸水対策、老朽化した管路・施設の更新には多額の投資と相当な期間を要します。

今後、より一層厳しさが増してくる経営環境の中、お客さまサービスを向上させながら、安定した堅実な経営を行い、将来にわたって下水道サービスを持続させるため、「[信頼される健全な経営](#)」を『持続』に関する方針として掲げます。

これら、3つの目標を実現させるために、施策及び実現方を定め、具体的な事業を展開します。

施策の体系は次のとおりです。

《基本理念》	《方針》	《目標》	《施策》
未来へつなぐ 安心して快適な暮らしを支える下水道	快適 快適な生活環境の創出	1. 下水道普及率の向上	1. 未整備地域の早期解消
		2. 良質な水環境を確保	1. 水洗化の促進 2. 水質監視体制の強化
	安心 危機に強い 安全安心な下水道の実現	1. 災害への備え	1. 管渠・施設の耐震化 2. 浸水対策 3. 危機管理体制の構築
		2. 管渠・施設の機能維持	1. 適切な維持管理 2. スtockマネジメントの実践
	持続 信頼される健全な経営	1. 持続可能な経営	1. 将来を見据えた経営 2. 経営基盤の強化 3. 人材の育成・確保 4. 環境にやさしい下水道
		2. お客さまとのコミュニケーション	1. お客さまサービスの実施 2. 広報活動の充実